

評価指標 及び 達成をめざすSDGs (一部抜粋)

【幼児教育の推進】

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	全ての幼稚園・保育園・認定こども園で、地域の自然や地域住民との触れ合い、多様な文化に触れる機会をもった総数	593 回	600 回
成果	園評価や保護者アンケート等において、幼児教育に理解を示す回答をしている保護者の割合	93%	100%



【学力の育成】

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	「授業で課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると実感している」と回答した児童生徒の割合	小 77.0% 中 81.3%	小 80.3% 中 87.1%
成果	標準学力調査における標準スコアの平均値	小 48.5 中 49.2	小 50.0 中 50.0



【郷土教育の推進】

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	教育内容と教育活動に必要な地域の「人」「もの」「こと」を効果的に組み合わせた指導計画を作成している学校の割合	62%	72%
成果	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答した児童生徒の割合	小 80.9% 中 77.9%	小 83.0% 中 79.1%



【生徒指導の充実】

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人いつでも相談できる」と回答した児童生徒の割合	小 63.6% 中 72.6%	小 70.0% 中 80.0%
成果	Q-U (学級満足度尺度調査) において、自分の学級の状態に満足している児童生徒の割合	68.0%	69.5%



【地域とともにある学校づくりの推進】

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	教職員や学校運営協議会委員、保護者、地域住民等の多様な人が集まって、熟議を計画的に実施している学校運営協議会の割合	68.1% (R7)	100%
成果	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった」と回答した学校の割合	48.9%	73.8%



【教職員が働きやすい環境づくり】

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	衛生委員会等において、教職員の健康の保持増進を図るための協議を年間2回以上開催した学校の割合	77%	100%
成果	ストレスチェックにおける高ストレス判定者の割合	11.4%	9.7%



【生涯学習の推進】

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	公民館において実施した年間講座数	164 講座	177 講座
成果	公民館利用者アンケートで、「満足」「やや満足」と回答した利用者の割合	84.8%	95%



【読書活動の推進】

評価する際の指標		現状値 (R6)	目標値 (R10)
活動	公立図書館における電子図書の蔵書冊数	15,270 冊	18,500 冊
成果	学校の授業時間以外に「10分以上読書をする」と回答した児童生徒の割合	小 58.1% 中 44.3% (R5)	小 61.6% 中 50.3%



概要版

松阪市教育ビジョン

基本理念

夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり

コロナ禍を経て、教育を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少、デジタル・トランスフォーメーション (DX) の進展など、急速に変化しています。

こうした時代を生き抜くため、子どもたちには主体的に判断し、多様な人々と協働し、新たな価値を創造する力が求められており、「持続可能な社会の創り手」としての資質・能力を育成することが重要です。

さらに、一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、知識や技能に加え、数値では測れない非認知能力の育成が不可欠です。豊かな体験活動や探究的な学びなどを通じて、主体的に課題解決に取り組む力や、多様な他者と協働する力、実社会で生きる力を育み、人間性や創造性を高めることで、一人ひとりが自分らしく生きる力を身につけることをめざします。



また、子どもたちを取り巻く課題が複雑化する中で、学校・家庭・地域が連携し、教育力を高めることが求められています。加えて、子どもたちだけでなく、保護者や地域の方々、教職員を含めた社会全体のウェルビーイングを確保し、誰もが学び続け、スポーツや文化芸術に親しむ地域社会を築き、未来を切り拓く教育を推進します。

基本方針

基本理念に基づき、家庭や地域、学校が協働し、本市の未来を担う子どもたちを以下の方針により育てることをめざし、重点的に施策を講じます。

- 一人ひとりの個性を大切に、社会の持続的な発展に向けて学び続け未来を切り拓く子どもを育てます
- 誰一人取り残さない社会の実現に向け、ふるさと・松阪に誇りを持ち、豊かな心と自主性や社会性を備えた子どもを育てます
- 夢と希望を持ち、可能性を最大限に発揮できるよう、地域とともに子どもたちの学びと育ちを支える教育環境の整備をめざします
- スポーツや文化の振興を図るとともに、全ての人が生涯を通じそれぞれのニーズに応じて学び、活躍できる環境づくりに努めます



令和8年度～令和11年度

松阪市教育委員会

30の教育施策

基本理念

夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり

<幼児教育>

- ①幼児教育の推進
- ②子育て支援の推進



<確かな学力>

- ③学力の育成
- ④グローバル教育の推進



<教育の情報化>

- ⑤教育の情報化の推進

<外国人児童生徒教育>

- ⑥外国人児童生徒教育の推進

<特別支援教育>

- ⑦特別支援教育の推進

<豊かな心>

- ⑧道徳教育の推進
- ⑨郷土教育の推進
- ⑩人権教育の推進
- ⑪キャリア教育の推進
- ⑫環境教育の推進



<安全安心な学びの場>

- ⑬生徒指導の充実
- ⑭安全教育の推進
- ⑮防災教育の推進

<健やかな体>

- ⑯体力の向上
- ⑰健康教育の推進
- ⑱食育の推進



<学びを支える学校>

- ⑲地域とともにある学校づくりの推進
- ⑳教職員が働きやすい環境づくり

<教職員の資質向上>

- ㉑教職員研修の充実



<学校施設の充実>

- ㉒学校施設の充実

<小中学校の再編活性化>

- ㉓小中学校の再編活性化



<社会教育>

- ㉔生涯学習の推進
- ㉕読書活動の推進
- ㉖青少年健全育成の充実



<スポーツと連動したまちづくりの推進>

- ㉗生涯スポーツの充実
- ㉘スポーツ環境の整備

<文化の振興と保存継承>

- ㉙文化芸術の振興
- ㉚文化財の保護



取組内容（一部抜粋）



・地域性を生かし、自然やさまざまな人々、多様な文化に触れる体験を通して、子どもたち一人ひとりに未来を切り拓くための資質・能力を育成する教育活動に取り組みます。
【幼児教育の推進】

・幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、小学校段階や中学校段階の各教科等における学習に円滑に接続したり、学校段階間・学校種間で合科的・関連的な指導を行ったりできるよう、生活科・総合的な学習の時間の充実を図ります。
【学力の育成】

・学んだ成果を学校・家庭・地域に発信し、ICTを活用して他地域の人々との交流を図ることで異文化理解を深め、我が国や郷土の魅力の再発見につなげる取組を推進します。
【郷土教育の推進】

・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、にじいろサポーターなど、相談・支援体制の充実を図るとともに、多様化、複雑化する子どもたちの課題に対し、一人ひとりの社会的自立に向けた適切な対応や支援の実現に向け、家庭や地域、関係機関と連携した取組を進めます。
【生徒指導の充実】

松阪市教育ビジョンに基づき、家庭や地域、学校が協働し、本市の未来を担う子どもたちを育てるため、30の教育施策に基づいた取組を進めます！



・子どもたちの生活習慣の改善・向上や、自己肯定感等の向上を図るため、学校運営協議会における協議や熟議を通して、学校・家庭・地域が共通理解を深めたり、それぞれの役割を自覚したりすることができる取組の推進に努めます。
【地域とともにある学校づくりの推進】

・学校や教職員が担う業務の役割分担や適正化を進めるとともに、調査・会議・研修等の見直しや、オンライン会議や掲示板・メール等の活用による打合せの削減、各種調査のWebアンケート化等、ICTを活用した業務の簡素化・効率化に取り組みます。
【教職員が働きやすい環境づくり】

・公民館や地区コミュニティセンターは、公民館が実施する講座やプログラム等を通じて子どもたちが地域の文化や社会資源に触れる機会を提供し、子どもたちの主体的な探究に対して支援をしていきます。
【生涯学習の推進】

・子どもの発達段階に応じて、興味・関心を尊重しながら、子どもが本に出会うきっかけづくりや読書習慣の基礎づくりができるよう、令和7年3月に改定した「第四次松阪市子ども読書活動推進計画」における施策を進めていきます。
【読書活動の推進】